

令和7年9月定例会あいさつ

皆さまおはようございます。

本日ここに、久山町議会9月定例会を招集いたしましたところ、議員全員の皆さまにご出席を賜り、誠にありがとうございます。

今年の夏は、当初の予想通り、全国において、昨年以上に、厳しい暑さと大雨に見舞われております。先月の8月9日から11日にかけては、福岡県北部地域に活発な雨雲が発生し、線状降水帯による局地的な大雨は、各地に大きな被害をもたらしました。本町においても、一部の地域において、高齢者等避難指示を発出する状況となりました。今回の豪雨によって、町内のインフラ等の被害は発生しましたが、町民の皆さまの人的被害がなかったことは、幸いでした。現段階で確認されている河川、道路、ため池等の被害案件は40件を超えており、応急処置を実施するとともに、復旧に向けて、福岡県との協議を進めていますが、今年も発生が予想される台風や豪雨等の災害に備え、災害復旧に向けた応急処置等の一部予算については、専決処分をさせていただきました。引き続き、町民の皆さまの安心安全の確保を第一に図ってまいります。

次に、令和6年度一般会計決算の概要をご報告いたします。歳入総額は約71億4,000万円で、前年度と比べ約2億4,000万円の増、歳出総額は、歳出総額は約65億8,000万円で、前年度と比べ約2億7,000万円の増となっております。歳入につきましては、前年度と比べ、町税が約3,100万円、1.3%の増、ふるさと応援寄附金が約5,400万円。8.2%の増となり、財政調整基金より2億3,000万円の積立てを行ったことにより、実質単年度収支は約1億5,000万円となっております。

また、令和2年度から余剰金を活用し、財政調整基金に一定程度の積立てを実施してき

たことで、基金残高は約19億5,000万円。公共施設等整備保全基金は約1億8,000万円となっております。今年度は一部を取り崩す予定ではありますが、新たな投資や事業の前倒し等に備えることができました。

次に、補正予算についてですが、今回の補正予算では、災害復旧に加え、さらなる物価高騰対策を講じながら、持続可能なまちづくりへの投資を図っていくために、ハード、ソフト両面の事業拡大を図っております。

ハード面といたしましては、生活環境整備として、大城戸～岩戸原線、和田線などの道路補修工事費などの予算を計上しております。

また、ソフト面といたしましては、町民の皆さまが、夢や希望を抱くとともに、人と人がつながる機会を創出していくための大人のキッズニア事業や、農林業振興、そして商工業振興、物価高騰対策を連動させた久山町地域お米券配布事業、町内販売農家直販所出店手数料助成事業。町産材利用促進事業の実証、また、子育て支援策として、第3子以降保育料無償化に関する予算などを計上しております。

次に、ご報告となりますが、本町の総合運動公園東側エリアにおいて、公益財団法人九電未来財団が取り組んでいる「九電未来の森プロジェクト」の整備が決まり、現在、11月の連携協定締結に向けて準備を進めております。九電未来の森は、環境教育や市民交流の拠点となる森づくりを目指し、現在、長崎県諫早市、鹿児島県霧島市の2カ所で整備が行われており、久山町は3カ所目、福岡県では初となります。

このプロジェクトによって、観光教育や植林等の環境保全が実施されることで、カーボンニュートラルの推進につながるとともに、自然を大切にする本町のまちづくりにおいても大きな地域資源となることが期待されます。今後は首羅山遺跡や総合運動公園事業等と

の連動性について、産官学金の幅広い分野から意見を伺いながら、効果的な事業を進めて
まいる所存です。皆さまのご理解をよろしくお願い申し上げます。

最後に、今定例会は、議員の皆さまにとって任期満了前の最後の定例会となります。こ
の4年間、皆さまのご支援とご協力のおかげで調整を滞りなく、進めるとともに、さまざ
まな分野で成果を生み出すことができました。厚く感謝申し上げますとともに、再選を目
指される議員の皆さまのご健闘を心からご祈念申し上げます。

なお今回、9月議会定例会に提案しました議案は、条例改正、令和6年度決算認定、令
和7年度補正予算など全17議案でございます。詳細につきましては担当課長がご説明い
たしますので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

令和7年8月25日

久山町長 西村 勝